

農村ツーリズム『農たび・北海道』の推進について

○ 農山漁村の豊かな自然や食、歴史・文化、生活体験などを観光資源として活かし、農業や観光業など多様な主体が地域ぐるみで農泊や教育旅行に取り組む「農村ツーリズム（農たび・北海道）」を推進。



地域への支援内容

●地域がうらおう農村ツーリズム展開事業（道事業） H29~R1

- ・ 振興局単位でのセミナー等の開催による取組への意識の醸成。
- ・ 地域の合意形成段階からの構想づくりに参加。
- ・ 国の農泊推進に係る交付金または制度に関する情報提供、助言。
- ・ 道内の活動実践者同士のネットワークづくり、先進事例紹介。
- ・ facebook、twitterによる情報発信、プロモーション等。

●地域がうらおう農村ツーリズム発展事業（地方創生推進交付金事業） R2~R4

- ・ 「展開事業」の取組の継続・拡大による地域支援の推進。
- ・ 農村ツーリズムの魅力を発信する地域支援動画(農泊・教育旅行)や農泊地域PRパンフレットを作成・発信し、取組の裾野拡大。
- ・ 農村ガイドサービス安定供給のための共通マニュアル作成し、研修会等でのPRにより、全道的なサービス水準を底上げ。
- ・ 農泊地域の効果的な情報発信の技術の向上やコンテンツ開発支援に係るセミナーを開催し、全道的なサービス水準を底上げ。

●農山漁村振興交付金推進費（国事業） R3~

- ・ 農泊推進ネットワーク会議の設置・運営及び農泊実施地域の選定等

農村ツーリズム再生事業（地方創生推進交付金事業） R5~ R6

【概要】農村ツーリズムは新型コロナウイルス感染症のまん延により来訪者が減少するなど大きく影響を受けていることから、受入団体に対する優良事例等の情報提供や受入農家等の意欲向上を図るための研修会の開催など、受入体制の強化に向けた取組を推進する。

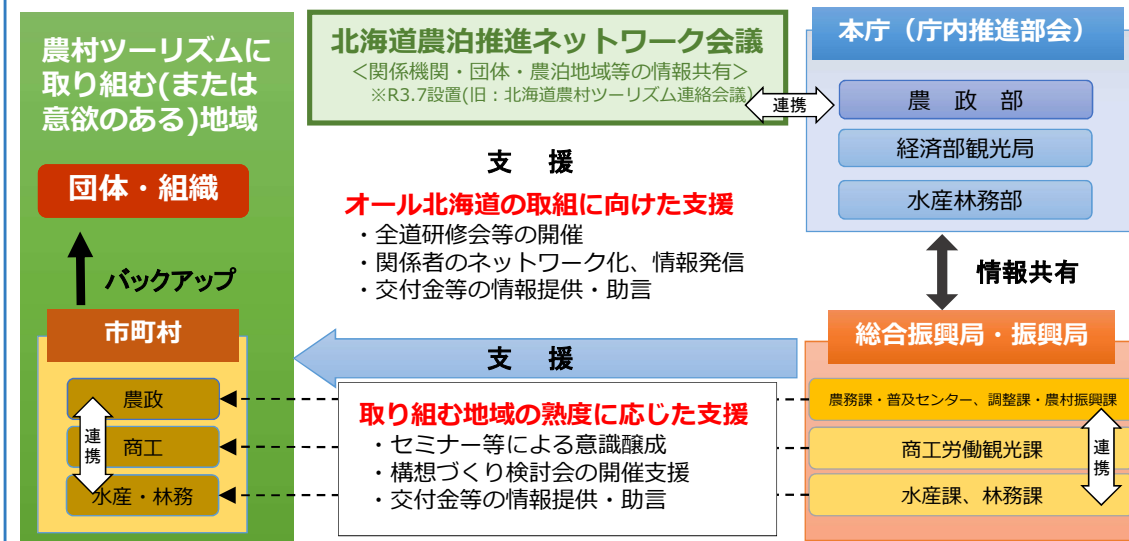
■ 受入人材育成・確保

- 他業種間を調整する地域コーディネーター等の人材育成セミナーの開催
- 受入農家等の意欲向上等の研修会の開催

■ 教育現場環境の変化に対応した支援

- 学習指導要領の改正に対応した受入事例に係るフォーラムの開催
- 市町村間をまたぐ広域連携体制の構築に係る意見交換会の開催

道の実施体制



地域ぐるみのイメージ図

